

第170回 全経簿記検定試験 上級 一商業簿記一 模範解答

模範解答・予想配点・解説等は、学校法人高橋学園が独自の見解によって作成しており、検定試験実施機関における本試験の解答並びに出題の意図を保証するものではありません。なお、予告なしにその内容を変更する場合がございます。ご理解いただいたうえで、ご利用ください。

問題 1 〔丸数字は予想配点、合計8点〕

〔平成 25 年 3 月〕

A 商品 売上帳

<34-1>

本来は「中央商事」です。解答用紙の誤植だと公表されています。

日付	摘 要	丁 数	売 掛 金
3 5	中島 商事 20 箱 @ ¥ 20,000	得 1	400,000
10	浦山 商会 16 箱 @ ¥ 20,000	得 2	320,000
12	浦山 商会 返品 1 箱 @ ¥ 20,000	得 2	20,000
20	中島 商事 80 箱 @ ¥ 20,000	得 1	1,600,000
21	中島 商事 値引 20 日販売分 5%	得 1	80,000
31	総売上高	2 / 10	2,320,000
〃	返品高	10 / 2	20,000
〃	値引高	10 / 2	80,000
〃	純売上高	✓	2,220,000

〔注〕太字は朱記される。

問 1	得意先元帳（補助元帳）の転記の正確性を確認する手段
②	得意先元帳への転記の正確性は、総勘定元帳における売掛金勘定の残高と、取引先ごとの得意先元帳残高の合計金額が一致することで保証される。

問 2	処理法	借 方	金 額	貸 方	金 額
②	七分法	売 上 戻 り 売 上 値 引 売 掛 金	20,000 80,000 2,220,000	売 上 売 掛 金 売 掛 金	2,320,000 20,000 80,000
②	三分法	売 掛 金 売 上 売 上	2,320,000 80,000 20,000	売 上 売 掛 金 売 掛 金	2,320,000 80,000 20,000

問 3	大陸法の長所を維持する方法
②	一度、特殊仕訳帳から普通仕訳帳に仕訳を記載し、普通仕訳帳を経由して総勘定元帳へ転記すれば、大陸法による照合システムを維持することができる。

問題 2（繰越試算表は次葉）※金額欄の数値の桁は、3 位毎にカンマを打ち、そろえること。

〔丸数字は予想配点、合計 72 点〕

(借方)			損	益	(貸方)		
〈営業費用〉					〈営業収益〉		
仕	入	70,	000,	000	売	上	100, 000, 000
給	料	7,	900,	000	〈上記以外の収益〉		
④	(貸倒引当金繰入額)	(	100,	000)	有価証券運用損益	(	0)
営業諸掛り		6,	228,	800	(法人税等調整額)	(	100, 000) ④
減価償却費	(	1,	745,	000)	(		)
④	(資産除去債務調整額)	(	1,	300)			
〈上記以外の費用〉							
④	有価証券運用損益	(	200,	000)			
社債利息	(	4,	050,	200)			
(社債発行費償却)	(		20,	000)			
④	減損損失	(	2,	956, 000)			
④	(投資有価証券評価損益)	(	250,	000)			
④	(法人税、住民税及び事業税)	(	2,	200, 000)			
(	)	(		)			
(	)	(		)			
当期純利益	(	4,	448,	700)			
		(100,	100,	000)		(100,	100, 000)

〔注〕 総ての空欄が埋まるとは限らない。営業と、これ以外の借方・貸方勘定とに分けること。また、社債に関わる費用は社債利息の下に続けて記入すること。有価証券運用損益勘定については、当該勘定が出てこない側（借方あるいは貸方）の金額欄に「0」と記入すること。

問題 3（問 2 と問 3 は次葉）〔丸数字は予想配点、合計 20 点〕

	借 方	金 額	貸 方	金 額
問 1	土地の評価の仕訳			
④	土 地	5, 000, 000	長期繰延税金負債 評価差額	2, 000, 000 3, 000, 000
	取得時の連結仕訳			
④	資本金当期首残高 資本剰余金当期首残高 利益剰余金当期首残高 評価差額のれん	100, 000, 000 20, 000, 000 12, 000, 000 3, 000, 000 2, 000, 000	関係会社株式 非支配株主持分当期首残高	83, 000, 000 54, 000, 000

(借方)			繰越試算表			(貸方)		
〈流動の部〉						〈流動の部〉		
小口現金		67,200				買掛金	4,500,000	
当座預金	7,	400,000				売掛金貸倒引当金		160,000
売掛金	8,	000,000				(未払法人税等)	(1,700,000)	
売買目的有価証券	(5,	400,000)				()	()	
④ (繰越商品)	(	700,000)				〈固定の部〉		
()	(	)				建物減価償却累計額	(30,240,000)	④
〈固定の部〉						備品減価償却累計額	(485,000)	④
④ 建物	(37,044,000)					(繰延税金負債)	(100,000)	④
④ 備品	(1,200,000)					(資産除去債務)	(27,300)	④
土地	(141,000,000)					()	()	
④ 投資有価証券	(2,000,000)					社債	(60,000,000)	
(繰延税金資産)	(100,000)					〈純資産の部〉		
()	()					資本金	(80,000,000)	
〈繰延の部〉						資本準備金	(15,000,000)	
④ 社債発行差金	(1,089,800)					利益準備金	(5,000,000)	
④ (社債発行費)	(20,000)					別途積立金	(1,500,000)	
()	()					繰越利益剰余金	(5,158,700)	
						(その他有価証券評価差額金)	(150,000)	④
						()	()	
		(204,021,000)			(204,021,000)			

[注] 総ての空欄が埋まるとは限らない。借方は、流動・固定・繰延、貸方は、流動・固定および純資産勘定に分けること。

問題3 (続き)

問2	期首商品に関わる仕訳				
	④	利益剰余金当期首残高 法人税等調整額	1,400,000 560,000	売上原価 利益剰余金当期首残高	1,400,000 560,000
	期末商品に関わる仕訳				
	④	売上原価 短期繰延税金資産	1,600,000 640,000	商品 法人税等調整額	1,600,000 640,000
問3	④	固定資産売却益 長期繰延税金資産 非支配株主持分当期変動額	2,000,000 800,000 480,000	土地 法人税等調整額 非支配株主に帰属する当期純利益	2,000,000 800,000 480,000